

平成27年4月25日

会員各位

公益財団法人 日本博物館協会
会長 銭谷眞美
(公印省略)

東日本大震災に係る「被災博物館復興支援事業」への
参加志望者等の登録について (依頼)

当協会では、東日本大震災の発生以降、文化庁支援による被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）に協力し、被災地におけるレスキュー活動への専門家派遣を行ってまいりました。平成23年度は42館146名、同24年度は27館83名、同25年度は42館118名、同26年度は28館53名の参加志望登録をいただき、レスキュー事業を中心に多大な貢献をすることができました。改めて厚く御礼申し上げます。

東日本大震災に係る文化財等救援事業については、国立文化財機構を中心に、全国的な防災体制の構築が進められており、当協会も構成団体として連携していく予定です。こうしたなかで被災地全体としては、被災資料の保存修復はもちろん、被災した博物館の復興には、今後も永い期間と労力の投入が必要とされている一方で、異常気象による文化財・博物館への被害とともに、今後の大規模災害への備えが急がれています。

日本博物館協会は、こうした現状に鑑み、被災地域の文化財等の保存修復、博物館の復興をはじめ、新たに起こる災害に対しても、今後も全力で支援を継続する所存です。

つきましては、当協会独自の“絆プロジェクト”として下記の復興支援事業を行うにあたり、平成27年度についても、専門家派遣等の形でご協力いただける方のご登録をお願いしたいと存じます。貴館園において参加を志望される方がおられましたら、5月29日(金)までに、別紙にてお知らせくださいますようお願い申し上げます（別紙様式は当協会のホームページからダウンロードいただけます）。

なお、個々の事業は、被災地域の行政機関や博物館からの要請を基に計画・実施する予定です。ご参加いただく際は、原則的に所属機関の職務として参加いただきますが、今後は、旅費等の活動経費については、極力支弁できるよう調整する所存ですので、何卒ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

記

- 1 被災地域自治体・博物館等からの要請に基づく文化財レスキュー等に関連する事業
- 2 被災文化財、レスキュー活動等をテーマとする展覧会の企画・巡回等の事業

以上

本件問合せ先：公益財団法人 日本博物館協会 事務局
TEL 03-3591-7190 担当：守井